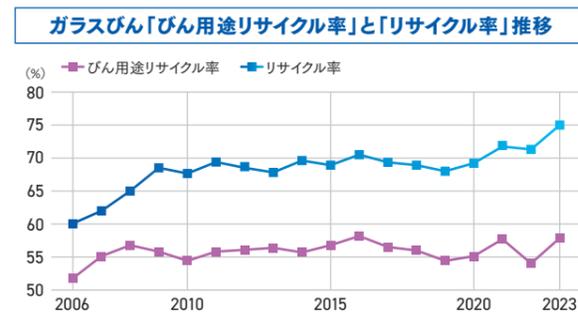
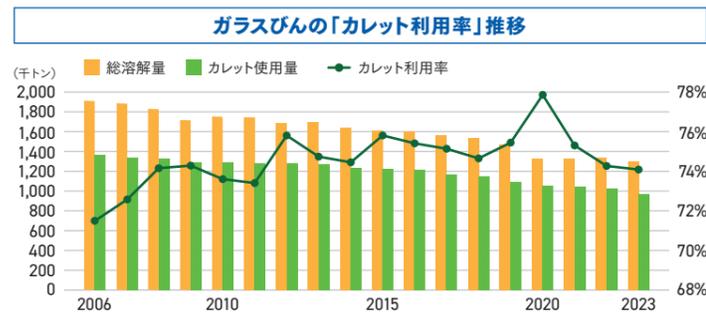
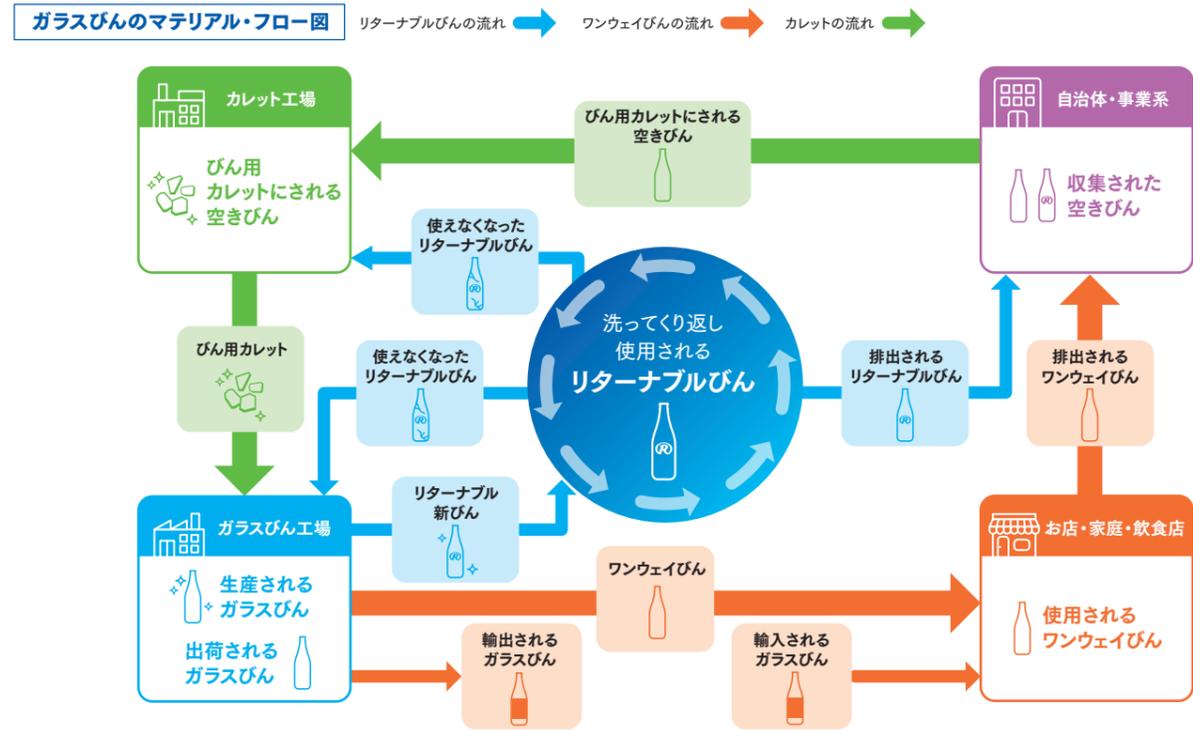


# 「びん to びん」水平リサイクルでガラスびんは何度でも生まれかわります。



**包装容器の分別収集・リサイクルの推進を目的とした素材を識別する表示マーク**

	プラ	紙	ガラス	PET	スチール缶	アルミ缶	紙パック	段ボール
再商品化義務	○	○	○	○	×	×	×	×
識別表示義務 (指定表示製品)	○	○	×	○	○	○	×	×
識別表示マーク等								

●ガラスびんは「容器包装リサイクル法」で定められた「再商品化義務」のある容器です。  
※容器包装リサイクル法＝平成7年(1995年)6月制定、平成9年(1997年)4月本格施行

●ガラスびんは「資源有効利用促進法」で指定された「指定表示製品」ではありませんが、「びん to びん」水平リサイクルの推進とリサイクル率の向上による循環型社会への貢献を目指し、令和7年3月25日に『(自主認定)ガラスびんリサイクルマーク』を定めました。  
※資源有効利用促進法＝平成13年(2001年)4月施行され、5種容器の識別表示を義務化

『ガラスびんリサイクルマーク』の清刷り(版下データ)ダウンロード

## 日本ガラスびん協会の概要

国内ガラス容器製造事業者の業界団体です。(正会員6社、準会員7社、賛助会員35社加盟)  
 1952年に「ガラスびん製品の利用啓発並びに利用情報の収集及び提供等を実施」を目的に設立されました。

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>主な活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ガラスびん統計情報の収集・提供</li> <li>●ガラスびんの価値と役割を広く社会に発信する広報活動</li> <li>●環境対策への取り組み(3R/自主行動計画)</li> </ul> | <p><b>主な3R関連団体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公益財団法人日本容器包装リサイクル協会</li> <li>●日本びんカレットリサイクル協会</li> <li>●ガラスびん3R促進協議会</li> <li>●びんリユース推進全国協議会</li> </ul> |
|---|--|



# 自主認定 ガラスびんリサイクルマーク 運用マニュアル

ガラスびんはリサイクルをすれば何度でもガラスびんに生まれかわるサステナブルな容器です。  
 使い終わったガラスびんをきちんと集めて再生利用することで、  
 資源循環のみならずCO<sub>2</sub>排出量と廃棄物の削減にもなり、環境負荷の低減につながります。

日本国内で製造されるガラスびんは、平均して1本あたり約75%の再生原料(カレット)を使用しています。  
 リサイクルしても素材劣化しないため、半永久的に資源循環できる「びん to びん」リサイクルを実現しています。  
 100年前のガラスびんが今に活かされ、今のガラスびんも100年先に活かされる。ガラスびんだからこそできる持続する「水平リサイクル」です。

『ガラスびんリサイクルマーク』を表示することで次のような効果が期待されます。

- 消費者の分別排出を分かりやすくします。
- 再生原料(カレット)の利用拡大につながります。
- 「びん to びん」水平リサイクルによる資源循環を促進します。

ガラスびんの分別排出を促進するため、みなさまのご協力をお願いします。

自主  
認定

# ガラスびんリサイクルマーク

## の運用方法

『ガラスびんリサイクルマーク』は、  
リサイクル可能な全てのガラスびんに適用されます。

(シンボルマーク)



※商標登録申請中  
(出願番号2024-122446): 日本ガラスびん協会

- 1 本運用マニュアルに定める『ガラスびんリサイクルマーク』をご利用ください。
- 2 『ガラスびんリサイクルマーク』は相似拡大・縮小してご利用ください(縦横比率の変更は不可です)。
- 3 『ガラスびんリサイクルマーク』の清刷り(版下データ)は、協会ホームページからダウンロードしてご利用ください。

※日本ガラスびん協会ホームページ『ガラスびんリサイクルマーク』清刷り(版下データ)  
URL: <https://glassbottle.org/mark/recyclemark>

### 表示場所 『ガラスびんリサイクルマーク』はどこに表示するの？

- ガラスびん入り製品のラベル、フタまたは外箱や内箱。
- ガラスびん本体への印刷。
- 最終排出者が視認しやすい場所を原則とし、事業者が自由に決めることができます。

### 表示色 表示する色は決まりがあるの？

- 最終排出者が識別しやすい色をご利用ください。
- 『ガラスびんリサイクルマーク』は単色でご利用ください。
- マークの表示は、「シンボルマーク」+「文字」が原則です。すべての要素を同一色でご利用ください。

### 表示方法 文字を配置した表示はどうすればいいの？

一般的な利用(ワンウェイびん)、リユース(リターナブルびん)の用途に合わせて以下の文字と組み合わせて表示ください。



#### シンボルマーク

- ラベル等へ表示する際は、本運用マニュアルに定める『ガラスびんリサイクルマーク』の掲載をお願いします。
- 『ガラスびんリサイクルマーク』は日本ガラスびん協会の清刷り(版下データ)をご利用ください。

#### 文字

- 最終排出者が利用状況に応じて、適切な表示の組合せをお選びください。
- 文字の配置は「シンボルマーク」の下中央に配置してください。
- 表示する文字は視認性の良い書体をご利用ください。

『ガラスびんリサイクルマーク』が付いたガラスびんを分別排出していただくと、  
何度でもガラスびんに再生利用できます。

『ガラスびんリサイクルマーク』は、何度でも水平リサイクルが可能な「ソーダ石灰ガラス」であるとともに、「再生原料(カレット)」を利用して製造されたガラスびんであることを表します。分別排出を分かりやすくすることでリサイクルを促進するための自主認定マークです。

### 表示サイズ 表示サイズに決まりはあるの？



#### シンボルマーク

- 縦サイズ6mm以上でのご利用を推奨します。
- シンボルマークの縦横比を維持してご利用下さい。

#### 文字

- 文字のサイズは4ポイント以上を推奨します。

### 表示対象 『ガラスびんリサイクルマーク』表示対象容器

#### 表示可能なガラスびん

- ガラスの組成が「ソーダ石灰ガラス」のガラスびんであること。
- 国内で製造・販売されるガラスびんであること。
- 国内での販売・利用を目的に輸入されるガラスびん入り製品であること。
- 「ワンウェイびん」もしくはリユースが可能な「リターナブルびん(一升びん、ビールびん、牛乳びん等)」であること。



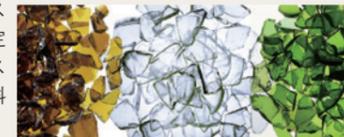
#### 表示できないガラス製品

- 陶磁器など、ガラスびん以外の製品には表示できません。
- コップや花瓶など、ガラスびん以外のガラス製品には表示できません。
- 耐熱ガラスやクリスタルガラスなど組成の異なるガラス製品及び乳白色のびんには表示できません。



#### 再生原料(カレット)

カレットとは回収されたガラスびんを色ごとに破砕し異物を取り除いて生産されるガラスびんの再生原料です。カレットを使用することで、大切な天然資源を節約できるだけでなく、原料を溶かす時間が短縮され、省エネルギー・CO2 排出量の削減にもつながります。資源有効利用促進法で、ガラス製容器製造業は「特定再利用業種」に指定されており、日本国内で製造されるガラスびんは1本あたり平均約75%の再生原料(カレット)を使用しています。



#### 日本国内のガラスびんリサイクル活動

日本のガラスびんの歴史は、繰り返し使うリターナブルびんから始まりましたが、1970年代になりライフスタイルの変化から、繰り返し使わない(ワンウェイ)びんが増え始めました。その頃からガラスびんメーカーのリサイクルに対する意識が高まり、当時の日本製瓶協会(日本ガラスびん協会の前身)では、再生原料(カレット)の回収ルート拡大、カレットの受け入れ基準の作成、再生原料(カレット)処理設備の標準化など、リサイクルを積極的に推進する活動を行ってまいりました。

#### ガラスびん入り製品を製造販売される事業者の皆様へお願い

- 『ガラスびんリサイクルマーク』のラベル等への表示にご協力ください。
- 『ガラスびんリサイクルマーク』を表示することで、「再生原料を利用しているガラスびん」、「何度でもびんにリサイクルできるガラスびん」の理解促進とリサイクルの推進にご協力ください。
- 「リターナブルびん」への表示については、「シンボルマーク」+「リターナブル」の文字表示にご協力ください。

#### ガラスびん入り製品を利用される消費者の皆様へお願い

- 『ガラスびんリサイクルマーク』のあるガラスびんはリサイクルできますので、お住まいの自治体のルールに従って分別排出してください。
- 『ガラスびんリサイクルマーク』の掲載がない「表示可能なガラスびん」も再商品化義務の対象容器包装です。資源の分別排出にご協力ください。
- 分別排出の際、①キャップを取る、②中をサッとゆすぐ、③「表示可能なガラスびん」以外のものは混ぜないにご協力ください。

#### 関連機関・自治体の皆様へお願い

- 資源物回収に関する配布物、HP等への掲載をお願いします。日本ガラスびん協会が管理する清刷り(版下データ)をご利用ください。
- ガラスびんの「びん to びん」水平リサイクル促進にご協力をお願いします。